

令和4年度 秋田支部 保険者機能強化予算(案)について

秋田支部保険者機能強化予算(案)

予算区分		支部予算枠	予算枠の算出基準
支部医療費適正化等予算	①医療費適正化対策経費	9,918千円	全体予算8億円を全支部一律に定額部分600万円を設定したうえで、残りを加入者数で按分し加算
	②広報・意見発信経費		
支部保健事業予算	③健診経費	37,880千円	全体予算40億円を40歳以上の加入者数で按分
	④保健指導経費		
	⑤重症化予防事業経費		
	⑥コラボヘルス事業経費		
	⑦その他の経費		

秋田支部医療費適正化等予算(案)

千円未満切り上げ

区分		新規 継続	取組名	予算額	備考
① 医療費適正化対策経費	企画部門関係	継続	お薬手帳ホルダーを活用した医療費の有効活用に向けた広報の推進	825千円	ジェネリック医薬品の意思表示付きのお薬手帳ホルダーを作成(スミ1色→2色)
		新規	メディア系媒体を利用した、医療費適正化に関する広報(時間外受診等)	374千円	子育て情報誌等への記事や広告の掲載
	小計			1,199千円	
② 広報・意見発信経費	紙媒体による 広報	継続	納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	2,271千円	健康保険あきた等事業所向けの定期発行物や健康保険制度や手続きについてのパンフレットを作成
		継続	限度額適用認定郵送申請セット、療養費装具郵送申請セット、任意継続郵送申請セットの作成	649千円	協会窓口での申請で多い申請書について簡単に郵送で申請できるようセット化したものを作成し、医療機関等に配布
	その他の広報	継続	特設サイトによる効果的な広報	2,635千円	適正受診や制度について理解してもらうサイトへweb広告により誘導し、医療費適正を図る
		継続	メールマガジンの魅力を高めるランディングページの作成	1,353千円	メールマガジンの登録につながるような特設サイトの作成(6回分)
		新規	作成済み素材を活用した各種広報(バスラッピング、ポスター2種、動画等)	1,811千円	これまで作成した広報素材を有効活用し、支部の認知度アップを図る
小計			8,719千円		
合計				9,918千円	

秋田支部保健事業予算(案)

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
③健診経費	継続	同意書の取得および事業者健診結果データの取得	5,040千円	アウトソーシングにより事業者健診にかかる同意書の取得及び健診結果データの取得
	継続	協会けんぽ主催の集団健診	1,699千円	受診機会の増加を図り、健診実施数の増加を目指し、協会けんぽ主催により集団健診を実施する
	新規	健診実施機関における健診実施件数増に対するインセンティブ	4,000千円	健診推進費より健診実施数増加に対する金銭的インセンティブを予定
	新規	市町村集団健診への特定健診受診勧奨	611千円	市町村の集団健診の日程チラシを作成し直前に通知予定。(令和4年度は大仙市限定)
	新規	医師会と連携した医療機関受診者への特定健診受診勧奨	99千円	受診勧奨チラシを作成し医師会と連携し、かかりつけ医からチラシの配布を予定
	継続	生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	1,917千円	令和4年度の健診について年次案内のため各種広報物の作成
	継続	特定健診未受診者に対する受診勧奨	2,214千円	未受診者(被扶養者)に対して、文書による受診勧奨を実施
	継続	その他事務経費	69千円	健診実施機関実地調査時の交通費等
	小計			15,649千円
④保健指導経費	継続	中間評価時の血液検査費	528千円	特定保健指導実施機関における特定保健指導で、中間評価のために実施する血液検査の費用
	継続	保健指導用パンフレット作成等	880千円	保健指導に活用するパンフレットを支部独自に作成、購入
	継続	特定保健指導の実施率の向上	3,429千円	保健指導利用を事業所等勧奨するための費用
	継続	その他事務経費	1,055千円	公民館等での保健指導時の会場賃借料や測定用機器の購入費等
	小計			5,892千円
⑤重症化予防事業経費	継続	未治療者に対する受診勧奨	6,529千円	アウトソーシングの委託数増加見込み
	継続	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	187千円	医療機関と連携した糖尿病成人症の患者に対する保健指導にかかる交通費
	小計			6,716千円

秋田支部保健事業予算(案)

千円未満切り上げ

区分	新規 継続	取組名	予算額	備考
⑥コラボヘルス事業経費	継続	健康経営宣言事業所等の宣言取組み支援	4,260千円	健康経営宣言事業所向けに健康に関する各種資料の作成・配布。宣言内容の見直し勸奨業務
	継続	運輸業団体と連携したコラボヘルス	546千円	運輸業団体と協同で広報誌「ニュースレター」を作成・配布
	継続	健康経営宣言の推進事業	371千円	業種を絞った勸奨や商工会議所会員事業所等へ勸奨(事業所カルテ等活用)
	小 計		5,177千円	
⑦その他の経費	継続	地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	528千円	自治体、医療関係団体と共同で開催する健康づくりイベントにてブース出展(コロナウイルス感染症の感染状況考慮の上実施)
	継続	受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	420千円	秋田市母子手帳別冊への広告 受動喫煙防止宣言ミニのぼりの作成 体育協会発行広報誌への広告掲載
	新規	減塩に関する啓発ポスターの作成	1,630千円	禁煙・運動に関するポスターについては作成済みのため、減塩に関するポスターを作成することで3大テーマ完成
	継続	歯と口腔の健康づくり事業	779千円	歯科健診により糖尿病等生活習慣病との関連がある歯周病を予防
	新規	喫煙リスクを持つ対象者への禁煙支援(健診時、リーフレット配布)	330千円	健診受診時に受動喫煙に関する情報提供を実施
	継続	健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究	759千円	秋田大学との共同研究にかかる研究費
	小 計		4,446千円	
合 計			37,880千円	

支部医療費適正化等予算				
分野				
区分	①医療費適正化対策経費		②広報・意見発信経費	
取組名	お薬手帳ホルダーを活用した医療費の有効活用に向けた広報の推進	メディア系媒体を利用した、医療費適正化に関する広報(時間外受診等)	納入告知書同封広報紙、総合パンフレット等の作成	限度額適用認定郵送申請セット、療養費装具郵送申請セット、任意継続郵送申請セットの作成
区分 (新規・継続)	継続	【新規】	継続	継続
事業目的	お薬手帳の携行率の向上、上手な医療のかかり方・インセンティブ制度の認知度の向上、ジェネリック医薬品の使用割合の向上	時間外受診の抑制による医療費適正化	事業に関するお知らせや制度全般に関する周知広報	限度額適用認定証の使用促進、各種申請の郵送化促進
事業概要	お薬手帳を正しく使い、安全・安心にお薬を服用していただくための啓発ツールとしてお薬手帳ホルダーを作成し、事業所へ配布する。さらにジェネリック医薬品Q&A冊子や、上手な医療のかかり方・インセンティブ制度にかかる啓発チラシをお薬手帳ホルダーへ差し込んだ広報	加入者へメディア系媒体を利用した医療費適正化に関する広報	日本年金機構が事業所に毎月送付する保険料納入告知書に支部広報紙「健康保険あきた」を同封してもらい、全事業所へ送付 協会けんぽの事業を広く知ってもらうため、総合パンフレット「健康保険はやわかりガイド」を作成し、新規適用事業所を中心に配布 チラシを作成し事業所の従業員に対しメールマガジンを広報	限度額適用認定証の使用促進や各種申請の郵送化促進を図るため、申請セットを作成し、配布
実施時期	通年	通年	毎月	4月
経費	825千円	374千円	2,271千円	649千円

分野	支部医療費適正化等予算		
区分	②広報・意見発信経費		
事業名	特設サイトによる効果的な広報	メールマガジンの魅力を高めるランディングページの作成	作成済み素材を活用した各種広報（バスラッピング、ポスター2種、動画等）
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】
事業目的	適正受診の向上	メールマガジンの登録者数および開封率の向上	健診受診率の向上、喫煙率の減少、塩分摂取量の減少、運動会数の増加によりヘルスリテラシーの向上
事業概要	WEB広告主体とした適正受診（正しい医療のかかり方）などの広報を行い、効果的に医療費適正化を推進	メールマガジン紙面に目を引く新たな特設コーナー（新企画）などをつくることで、秋田支部のメールマガジンの登録者数及び開封率の向上のためのランディングページ（特設サイト）の作成	令和3年度までに秋田支部で作成した各種広報素材を活用した広報
実施時期	9月～11月頃	通年	通年
経費	2,635千円	1,353千円	1,811千円

分野		支部保健事業予算			
区分	③健診経費				
事業名	同意書の取得および事業者健診結果データの取得	協会けんぽ主催の集団健診	健診実施機関における健診実施件数増に対するインセンティブ	市町村集団健診への特定健診受診勧奨	
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】	【新規】	
事業目的	同意書および事業者健診結果データの取得	特定健診受診率の向上	生活習慣病予防健診受診率の向上	特定健診受診率の向上	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生法に基づく定期健康診断について県内で最も多く実施している、秋田県総合保健事業団にて事業所へ送付する健診のパンフレットに同意書の提出勧奨文書等を同封 紙媒体での健診結果の取得が増加傾向にあるため、外部委託により同意書および結果データの取得 	被扶養者に対する集団健診を実施し、未受診者に対する広報および健診を実施	生活習慣病予防健診の実施機関に対し、健診実施数増加に対する金銭的インセンティブの実施	協定を締結している大仙市との共同事業として、公民館等で実施している大仙市の集団健診について、加入者の自宅付近の会場、日程をDMIにて広報	
実施時期	7月～3月	8月～11月	通年	4月～10月	
経費	5,040千円	1,699千円	4,000千円	611千円	

分野	支部保健事業予算		
区分	③健診経費		
事業名	医師会と連携した医療機関受診者への特定健診受診勧奨	生活習慣病予防健診および特定健診の支部独自健診案内	特定健診未受診者に対する受診勧奨
区分 (新規・継続)	【新規】	継続	継続
事業目的	特定健診受診率の向上	生活習慣病予防健診および特定健診受診率の向上	特定健診受診率の向上
事業概要	医療機関へ外来通院している被扶養者を対象に通院先で特定健診が受診できるということを広報	生活習慣病予防健診等一斉発送の際に支部独自の印刷物を同封	特定健診未受診者にDMの送付や広告掲載による、受診勧奨を行う。
実施時期	通年	一斉発送時から通年	7月、1月
経費	99千円	1,917千円	2,214千円

分野	支部保健事業予算		
区分	④保健指導経費		
事業名	中間評価時の血液検査費	保健指導用パンフレット作成等	特定保健指導の実施率の向上
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	保健指導利用者の食生活や運動等生活習慣改善努力の効果測定	保健指導時の活用	特定保健指導の新規開拓および終了者数の向上
事業概要	協会けんぽ秋田支部の保健師等または受託機関が実施する特定保健指導の利用者において生活習慣改善努力の効果測定を希望する者へ対し血液検査を実施	保健指導時に活用するパンフレットの購入や支部独自のパンフレットを作成	特定保健指導に対する受け入れ効果を高めるため共同利用や訪問案内発送等の際に支部独自の印刷物を同封
実施時期	通年	通年	通年
経費	528千円	880千円	3,429千円

分野	支部保健事業予算	
区分	⑤重症化予防事業経費	
事業名	未治療者に対する受診勧奨	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策
区分 (新規・継続)	継続	継続
事業目的	未治療者の医療機関受診率の向上	糖尿病性腎症患者に対する重症化予防、QOLの向上、医療費適正化
事業概要	健診結果が再検査(血圧や血糖が高値等)となった方に対して、重症化する前に医療機関を受診するよう電話や文書により勧奨を行う。電話勧奨については外部委託を実施する。	大館市立総合病院の医師より協会けんぽ加入者で糖尿病性腎症患者を紹介してもらい、外来終了後に、院内管理栄養士と協会けんぽ保健師が保健指導を実施する。
実施時期	通年	通年
経費	6,529千円	187千円

分野	支部保健事業予算		
区分	⑥コラボヘルス事業経費		
事業名	健康経営宣言事業所等の宣言取組み支援	運輸業団体と連携したコラボヘルス	健康経営宣言の推進事業
区分 (新規・継続)	継続	継続	継続
事業目的	健康経営宣言の取組みに対する支援、健康経営の推進	運輸業団体と連携した事業所における健康づくりの推進、健康経営宣言の普及	健康経営宣言事業所数の拡大
事業概要	健康経営宣言して健康づくりに取り組んでいる事業所担当者の方から、「健康づくりに取り組むための啓発資料がほしい」、「他の事業所の取組み事例を知りたい」などの声が多数聞かれることから、健康づくりに関する資料の配布等を行うことによって、宣言後の取組みに対する支援	業種別にみると運輸業の健康リスクが特に高いことに着目し、協定締結先である秋田運輸支局・バス協会・トラック協会・ハイヤー協会と協力連携して、運輸業界に特化した広報紙「ニュースレター」を作成・配布するとともに、運輸業界における健康経営宣言の普及を図る。	宣言事業所数は着実に増加しているものの、更なる拡大を図るため、保健指導時の勧奨、DM等による案内、電話勧奨、各種研修会の場での勧奨を実施する。
実施時期	通年	6月、9月、12月、3月	通年
経費	4,260千円	546千円	371千円

分野		支部保健事業予算	
区分	⑦その他の経費		
事業名	地方自治体等と連携した健康づくりイベントによる啓発事業	受動喫煙防止啓発による禁煙促進事業	減塩に関する啓発ポスターの作成
区分 (新規・継続)	継続	継続	【新規】
事業目的	加入者の健康づくり啓発及び関係機関との連携強化	喫煙者の減少	減塩についての啓発
事業概要	<p>共同で健康づくり事業を推進することが効果的であること、また、他団体との良好な関係構築の観点から、自治体や関係団体と連携した事業を展開する。</p> <p>①秋田市と共同で健康フォーラムを開催 ②秋田県と共同で受動喫煙防止フォーラムを開催 ③関係団体と連携して、イベント等でのブース出展や広報物の配布</p>	<p>受動喫煙などの喫煙による害の啓発や受動喫煙防止施設の登録拡大に取り組む。</p> <p>①母子手帳等への受動喫煙の害に対して広告掲載 ②子どもを介した親への啓発を行うため、小学校の授業で講演、リーフレットの配布 ③県と共同で実施している受動喫煙防止施設登録認定事業で、事業所に対して受動喫煙防止宣言ミニのぼりを配布。</p>	減塩に関するポスターを作成し健康経営宣言事業所等へ配布し減塩について啓発
実施時期	上記①(10月)、上記②(6月・11月)、上記③(3月)	上記①(4月)、上記②(4月・9月)、③(通年)	通年
経費	528千円	420千円	1,630千円

分野	支部保健事業予算		
区分	⑦その他の経費		
事業名	歯と口腔の健康づくり事業	喫煙リスクを持つ対象者への禁煙支援 (健診時、リーフレット配布)	健康リスク抑制にかかる秋田大学との共同研究
区分 (新規・継続)	継続	【新規】	継続
事業目的	歯周病、糖尿病等の予防	喫煙者の減少	被保険者の将来の健康リスクの抑制
事業概要	秋田県歯科医師会、秋田県口腔支援センターと連携し、歯周病と糖尿病に関する啓発活動と歯科健診、歯科に関する保健指導を実施	生活習慣病予防健診時、喫煙者に対して禁煙の助言や禁煙に必要な情報提供リーフレットを配布	生活習慣病予防リスクのうちメタボ・血圧において男女ともワースト1位、その他の項目もすべてワースト5位以内となっているため、生活習慣病リスク保有割合が高い要因を教育研究機関と共同研究を実施
実施時期	5～3月	通年	通年
経費	779千円	330千円	759千円